

# 美浜町 津波 ハザードマップ



グラッときたら、安全な高台へすぐ逃げる！



このマップについてのお問い合わせ先：美浜町エネルギー政策課 防災・原子力対策室 Tel.0770-32-6716 令和5年3月

## 地震・津波災害時の避難行動

### 避難のポイント

**ポイント①**  
地震を感じたら直ちに避難！

- 強い揺れやゆっくりと長い時間の揺れを感じたら、急いで避難してください。
- 津波は強い地震だけではなく、弱い地震でも起こる場合がありますので、地震の揺れを感じなくても、大津波警報、津波警報、津波注意報が発せられたら、すぐに避難しましょう。

**ポイント②**  
より「速い」、より「高い」場所へ！

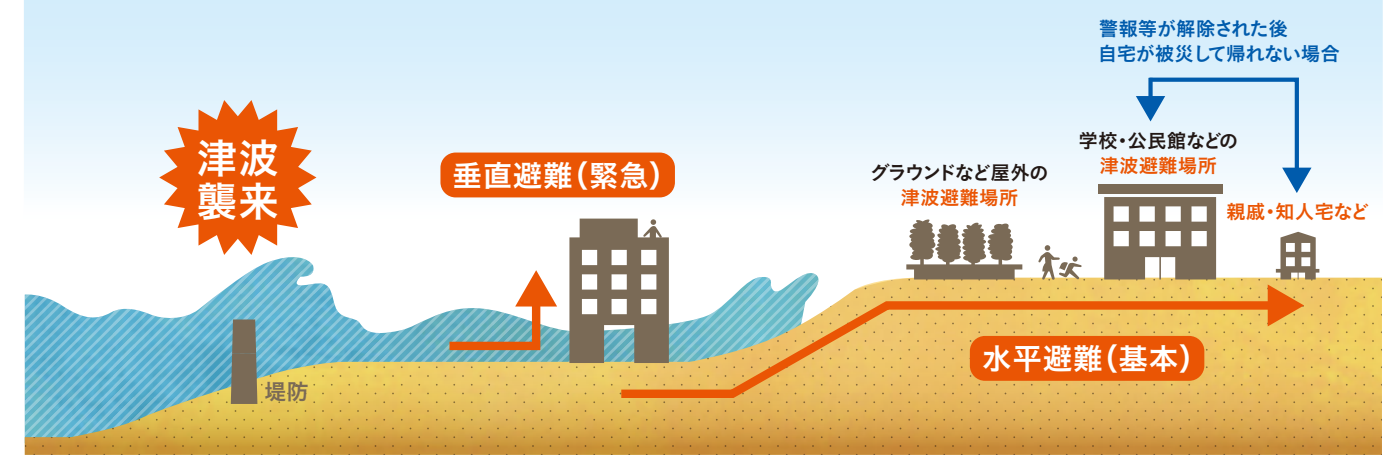
- 時間と余力がある限り、海岸から離れたより高い安全な高台などへ避難（水平避難）しましょう。
- 時間に余裕がない場合は、遠く逃げるよりも「高い」場所へ逃げることで（垂直避難）を心がけてください。

**ポイント③**  
避難に車は使わない！

- 原則として、車で避難することはやめましょう。水深が30cmを超えると車は走行が困難になります。
- 車で避難すると、渋滞が発生し津波に飲み込まれてしまうおそれがあります。

**ポイント④**  
海・川に近づかない！

- 大津波警報、津波警報、津波注意報が解除されるまで海岸や川原には近づかないようにしましょう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報や津波注意報が解除されるまで高台にとどまってください。



### 避難の種類と行動

避難行動には、津波避難場所や近隣のより安全な場所・建物などへの「水平避難」、逃げ遅れた場合に、その時点にいる建物内でより安全な部屋などへ移動する「垂直避難」があります。

**【水平避難】**

津波避難場所や近隣のより安全な場所・建物などへ移動する避難行動。

**【垂直避難】**

逃げ遅れた場合に、その時点にいる建物内でより安全な部屋などへ移動する避難行動。

### 避難時の心得

**火の元(コンロ、暖房器具、カセット、薪など)と戸締りを確認。電気はブレーカーを落としましょう。**

**動きやすい服装、必要最小限の荷物で、できるだけ12人以上で避難しましょう。**

**長靴は脱げる危険があります。運動靴で避難しましょう。**

**水の深さによっては危険なことがあるので、浸水する前に避難しましょう。**

**マンホールや排水溝に気づかず、吸い込まれる危険があります。状況などを確認し、注意して避難しましょう。**

## 非常持出品や非常備蓄品の準備をしましょう

### 非常持出品

**■食料**

- 飲料水
- 非常食(火を通さず食べられるもの)
- 粉ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合) など

**■救急・安全対策用品**

- 持病薬
- 常備薬(胃腸薬、風邪薬)
- 傷薬、消毒薬
- 包帯、ガーゼ、絆創膏
- 地図(ハザードマップ) など

**■貴重品**

- 現金(小銭)
- 預金通帳、印鑑
- クレジットカード
- マイナンバーカード
- 健康保険証
- 免許証 など

**■感染症対策**

- マスク
- 体温計
- 手指消毒液 など

**■日用品**

- 歯磨きセット
- ポリ袋(ビニール袋)
- ティッシュ、濡れティッシュ
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 携帯電話
- 電池、充電器、モバイルバッテリー
- 筆記用具(油性マジック)
- 使い捨てカイロ
- 簡易食器(割り箸、紙皿)
- 携帯トイレ
- 紙おむつ
- 生理用品
- メガネ
- 万能ナイフ など

**■衣類など**

- 衣類(厚手のものと薄手のもの)
- 下着類
- タオル
- 手袋、軍手
- 雨具 など

**非常持出品**は重すぎるなど種類が多くなる場合があります。体力に合った重さ、大きさを準備しましょう。

**【目安】**  
 ◎男性…15kg  
 ◎女性…10kg

### 非常備蓄品

(最低3日間・推奨1週間)

**■日頃の買い置き**

- 保存性のよい食料や水(消費したら買い足すローリングストック)

**■3日以上以上の食料等**

- 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、カップラーメン、切り餅、お菓子、調味料
- 飲料水(大人1人当たり1日3リットル)
- カセットコンロ・ガスボンベ
- 缶切り
- ラップ
- 携帯トイレ(1人当たり1日5回) など

**【ローリングストック】**

期限切れになってしまいう前に消費する、経済的な方法です。

### 津波避難の三原則

津波警報が解除されるまで絶対に戻らない！

大津波警報、津波警報、津波注意報が発せられたら、すぐに高台に避難してください。「津波避難の三原則」は避難の際の心構えとして重要なことです。迷わず実行できるよう家族で話し合っておきましょう。

**①想定にとらわれるな**

相手は自然です。地震や津波が想定を超えることもあります。

**②その状況下において最善を尽くせ**

津波ほどどこまで来るか実際にはわかりません。「ここまで来れば大丈夫」ではなく、その時できる最善の避難行動をとりましょう。

**③率先避難者たれ**

まず自分が率先して避難しましょう。あなたの姿が、まわりの人の避難を促すことにつながります。

## 津波ハザードマップの使い方

福井県では、過去の地震によりいくつかの津波を経験しており、これから先、海底を震源とする地震が発生した場合、津波による被害が発生する可能性があります。

「美浜町津波ハザードマップ」は、地震による津波の災害に、「日頃からのように備えておけばいいのかわがー、災害が起こった場合はどう行動すればいいのかわがー」についてまとめたものです。このマップで、自宅が浸水する可能性のあるか、また、安全な場所はどこで、どう避難するかを、ご家族の皆さんとよく話し合ってください。

**過去に福井県に襲った津波**

発生日月	地震の名称	地震規模	津波の規模(いずれも人的被害なし)
昭和39年6月16日	新潟地震	M7.7	三間0.36m、敦賀0.46m
昭和58年5月26日	日本海中部地震	M7.7	三間1.2m、高浜1.9m
平成5年2月7日	—	M6.6	福井港0.26m
平成5年7月12日	北海道南西沖地震	M7.8	福井港0.9m、敦賀港0.9m

出典元…東京大学出版会「日本津波津波観測」[第2版] (684年から1996年(平成8年)に日本およびその周辺で発生した津波について整理されたもの)による

## 美浜町の津波浸水想定について

前回作成した津波ハザードマップ(平成26年3月作成)は、国による断層調査が実施されていなかったため、福井県が独自の手法で行い、平成24年度に公表した津波浸水想定を基に作成したものです。

令和2年10月に福井県が、国から示された「日本海側統一の津波断層モデル(日本海における大規模地震に関する調査報告書)」と「津波浸水想定の手引き」による計算手法を用いて津波浸水想定<sup>※1)</sup>を行い、令和4年3月に津波災害警戒区域を指定したので、マップの見直しを行いました。

このマップでは、美浜町沿岸に最大クラスの津波を起こすと想定される「F52」の断層(図1)を起点とし、最大浸水深を推計した結果<sup>※2)</sup>を掲載しています。

※1:津波浸水想定とは、最大クラスの津波が断層条件下に発生した場合の想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)の最大値を重ね合わせて表したものです(図2)。  
 ※2:最大浸水深の推計においては、最も津波の影響がある高潮時に堤防や防波堤が破壊された場合の条件としています(図3)。  
 (注)実際に地震が発生した場合は、想定より高い津波が発生する可能性があります。

**■過去の津波断層モデルの位置図**

**■堤防(盛土構造物)**

地震発生前 → 地震発生後

**■防波堤(護岸も同様)**

地震発生前 → 地震発生後

※断層や浸水状況に対する技術的評価結果がない構造物および堤防の条件設定

## 津波発生メカニズムと津波の特徴

### 津波発生メカニズム

**津波発生と伝播のしくみ**

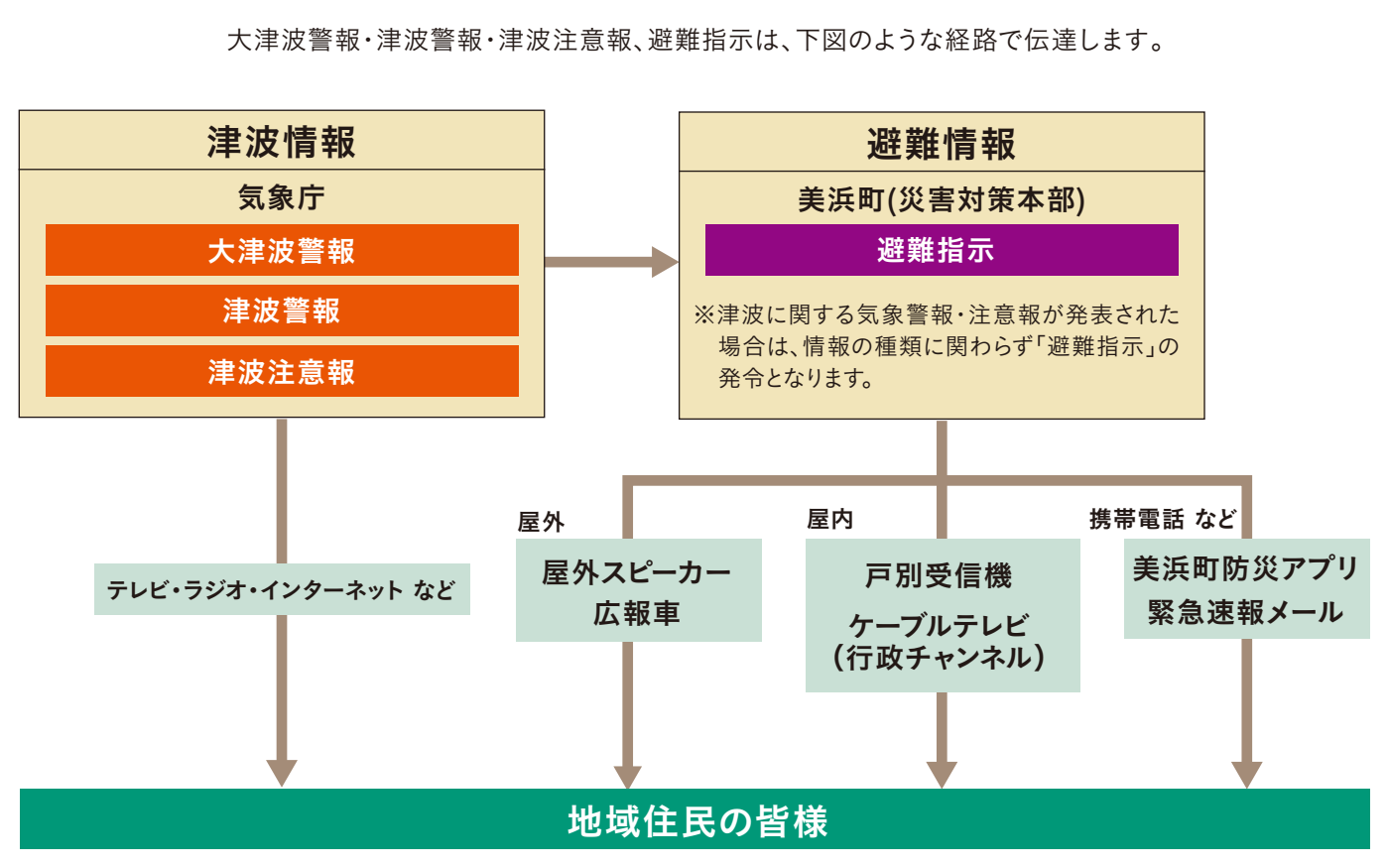
津波とは、海底の浅い所で発生した地震により、その上の海水全体をおし上げ、大きな波となって四方八方に伝播するものです。通常の海の波は、海水表面だけがうねる現象であるのに対し、津波は、海底から海面までの海水全てが移動するエネルギーの大変大きな波です。このため、津波は海底から海面までの水がかたまりとなり、勢いが衰えずに連続して押し寄せます。

- 地震により海底が動きまします
- 海水をおし上げて津波が起こります
- 海底から海面までの水がかたまりとなって海岸に押し寄せます

### 津波の特徴

- 津波のスピードは速い!**  
津波の速さは、沖合ではジェット機並み、海岸付近ではオリンピックの100m選手並みのスピードです。「注意報」や「警報」が出る前に襲ってくる津波もあります。
- 津波は引き波から始まるとはかぎらない!**  
震源付近の地形によっては、引き波が起こらずに押し波が襲ってくることもあります。
- 津波は繰り返し襲ってくる!**  
津波は2回、3回と何回も繰り返し襲ってきます。津波警報や津波注意報が解除されるまでは安全な津波避難場所にとどまりましょう。また、第1波が最大とは限りません。
- 津波の破壊力はすさまじい!**  
津波の破壊力は、家や車を流してしまふほどすさまじいものです。木造家屋の場合、浸水深が約2mでほぼ全壊、約1mで半壊となります。
- 津波の高さは想像を超える!**  
津波は、海岸の地形によって予想の数倍の高さとなる場合があります。

## 災害時の情報伝達の経路



### 津波に関する警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表(予想される津波の高さ区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、たぐりかきや避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		5m超 (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		3m超 (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m超 (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、たぐりかきや避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m超 (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(低い)	海の中では人は流れに巻き込まれ、溺れるおそれがあります。海の中にいる人はたぐりかきや避難ビルなど安全な場所へ避難してください。

## わが家の防災メモ

**■わが家の避難所・避難場所(災害別)**

津波	高潮	地震	急傾斜地の崩壊、土石流、地すべり	洪水

**■いざという時の連絡先**

機関名	電話番号	機関名	電話番号
美浜町役場(代表)	☎0770-32-1111		
美浜消防署	☎0770-32-1190		
救急警察署	☎0770-25-0110		
病院(名称: )			

**■わが家の連絡先**

名前	会社・学校の連絡先	携帯電話	メールアドレス	生年月日	血液型

### 安否確認方法

**災害用伝言ダイヤル(171)** 災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。

**■使用方法を知っておきましょう。**(※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます)

**伝言の録音** 171 → 1 → 被災した家の電話番号(30秒以内) → 伝言を入れる(30秒以内) → 伝言を聞く

ガイダンス(説明)が流れます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を添付番号からダイヤルして下さい。

※災害時であっても、緊急でない電話は控えます。 ※毎月1日、15日に体験利用ができます。一度体験してみてください。

**災害用伝言板(web171)** インターネット上で利用できる災害用伝言板です。

自分の安否情報を登録することができ、インターネットを通じて、登録された安否情報を家族や友人などが確認できる災害時専用のサービスです。あらかじめ指定した家族や友人に対して、災害用伝言板に登録したことをメールでお知らせすることも可能です。

**災害用伝言板(web171)** <https://www.web171.jp>

### 情報の入手方法

**テレビやラジオ**

リモコンのボタン(デフォルト)を押すと、テレビ画面で情報を確認できます。

**アプリ・メール** (携帯電話/スマートフォンなど)

●美浜町防災アプリ  
美浜町防災アプリでは、防災情報や生活にかかわる緊急情報、おくよみ情報等の町からのお知らせのほか、消防からの情報、区・自治会からのお知らせ等が配信されます。お手持ちのスマートフォンにダウンロードしていただき、ご利用ください(上記のQRコードの読み取りはGoogle Play・App Storeにて「美浜町防災アプリ」と入力して検索してください)。

●緊急速報メール(エリアメール)

町内に居住する人の携帯電話に強制的に情報が配信されます。**登録不要**

※一部機種でエリアメールの受信にあらかじめ設定が必要な場合があります。

**インターネット** (パソコン、携帯電話/スマートフォンなど)

- 福井地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/fuku/index.html>
- 福井県防災ネット [https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis\\_portal/index.html](https://www.bousai.pref.fukui.lg.jp/dis_portal/index.html)
- 川の防災情報 <https://www.river.go.jp/index.html>
- 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

## 自主的に参加してみましょう

### 地域での防災活動に参加しましょう

**■自主防災組織について**

大規模な災害が発生したときに被害の拡大を防ぐには、国や自治体の支援(公助)だけでは限界があるため、自分の身を自分で守ること(自助)、地域や近隣の人が集まって、互いに協力して防災活動に取り組むこと(共助)が必要です。共助を担う組織の一つとして、町では自主防災組織の設立を呼び掛けています。

**■防災訓練に参加しましょう**

お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域の防災訓練にも参加しましょう。

### 地域で災害に備えましょう

**■自主防災組織の設立**

地域で災害に備えるため、自主防災組織を設立し、組織で防災対策(危険箇所の確認、防災マップの作成、防災資機材の購入など)を行います。災害時にはこの名簿をもとに地域で避難行動要支援者の支援に協力しましょう。

**■地区集会所等の活用**

ハザードマップ等で災害の危険性が低いことが確認できている場合、地区集会所等を一時的避難所として開設し、自主的に避難しやすい環境作りに協力しましょう。

**■避難行動要支援者への支援**

町では、災害時に支援が必要な方を対象とした「避難行動要支援者名簿」を作成し、地域の避難支援関係者へ提供しています。災害時にはこの名簿をもとに地域で避難行動要支援者の支援に協力しましょう。

**■個別避難計画の作成**

町では今後、避難行動要支援者の方それぞれに個別避難計画を作成していく予定です。作成には地域の協力が必要となりますので、ご協力をお願いします。

### ハザードマップに書き込んでみましょう!

- 自宅の位置  
まずはハザードマップ内のご自宅に●印をつけましょう。
- 避難の際の目標地点  
津波の危険から身を守るため、避難の際に目標とする地点を決めて★印をつけましょう。
- 津波避難場所  
津波避難場所一覧の表の中から避難する場所をあらかじめ確認し●印をつけましょう。
- 避難時の危険箇所  
地震による家屋・物の倒壊や津波による浸水など、避難する際に危険で通れないと想定される場所に×印をつけましょう。
- 高くて頑丈な建物  
避難の時間に余裕がないときに逃げ込む高くて頑丈な建物に▲印をつけましょう。
- 避難経路  
①～⑤の印を踏まえ、ご自宅から避難の際の目標地点と、そこから津波避難場所までの避難経路を→で書き込みましょう。

※津波災害警戒区域とは、ハザードマップに着色された浸水のおそれがある区域のこと。